

様 式 C - 7 - 1

## 平成 2 8 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 

1	2	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 東京外国語大学
3. 研究種目名 基盤研究(B) (一般) 4. 研究期間 平成 2 8 年度 ~ 平成 3 1 年度
5. 課題番号 

1	6	H	0	3	4	4	2
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
2 0 2 0 4 7 0 3	カワグチ ユウジ 川口 裕司	大学院総合国際学研究院	教授

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
0 0 2 5 1 5 6 2	ウミノ タエ 海野 多枝	大学院国際日本学研究院	教授
8 0 1 9 5 5 8 6	クロサワ ナオシ 黒沢 直俊	大学院総合国際学研究院	教授
6 0 7 2 4 8 6 2	アキヒロ ヒサエ 秋廣 尚恵	大学院総合国際学研究院	准教授
0 0 5 4 8 9 2 7	ドゥテ シルヴァン Detey Sylvain	早稲田大学・国際学術院	教授
0 0 7 3 5 9 7 0	スギヤマ カオリ 杉山 香織	西南学院大学・文学部	准教授

## 9. 研究実績の概要

各研究班の活動は以下の通りであった。

フランス語研究班は、2017年度に東京外国語大学（秋廣）、西南学院大学（杉山）、名古屋外国語大学（近藤）の三カ所で学習者言語の調査を実施するため、被調査者数、新たなライティング課題、インタビュー課題（Detey）、文字化プロセス等の検討を行った。さらに既存コーパスに基づく各自の研究課題について検討を始めた。ポルトガル語研究班は、黒澤の指導下に鳥越がIPFCの共通プロトコルに基づくポルトガル語の調査項目暫定版を準備した。次に暫定版をパリ第8大学のCarvalho 教授に内容を精査してもらい、鳥越が調査項目最終版を作成した。日本語研究班は、海野の指導下で、院生協力者が日本語の調査項目暫定版を準備し、東京学芸大学の斎藤教授からコメントをもらい最終版を作成した。トルコ語研究班は、川口がTranscriberを用いたトルコ語話ことばコーパスの音声と文字の同期作業を開始した。またボアジチ大学のGuksel 教授の協力を得て、トルコ語の調査項目を完成させた。2016年度の顕著な研究業績としては、Deteyと川口がフランスでフランス語学習者言語に関する出版を行い、川口と海野が国際学術誌に論文を発表した。川口、Detey、杉山が台湾での国際会議に招待され研究発表を行った。このほか、イタリア人研究者らと共にワークショップ「言語コーパス：言語教育への応用可能性」を東京で開催し、フランスおよびトルコから研究協力者を招聘し、複数の講演会を東京、京都、博多で企画して他の研究者とも交流を行い、今後の協同研究の可能性について話し合った。

## 10. キーワード

(1) 第二言語習得	(2) 対照中間言語分析	(3) 言語コーパス	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)

## 11. 現在までの進捗状況

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

2016年度の当初計画では、フランス語に関しては、東京外国語大学で既に学習者言語データの蓄積があるため、既存データを中心に分析を行う予定であったが、西南学院大学と名古屋外国語大学での調査準備に時間が割かれ、作文課題も検討が必要となったため、既存データに基づく研究は2017年度に行うこととした。他のポルトガル語、日本語、トルコ語では当初計画の通り、海外協力者から本計画を遂行するための助言を得ると同時に、IPFC 共通プロトコルに基づく調査項目を作成することができた。トルコ語話しことばコーパスに関して、当初計画のように、Transcriberを用いてコーパスの音声と文字を同期させる作業が行われた。

## 12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策)

各班と全体の計画は以下ようになる。フランス語研究班は既存の話しことばコーパスと学習者言語コーパスを利用し、海外協力者から協力を得ながら、各自の専門領域(単音と韻律句、語彙、談話標識等)について分析を開始し成果報告を行う。ポルトガル語研究班は、昨年度作成した調査項目を使って、東京外国語大学と他大学で予備的調査を開始し、留意事項や問題点等を検討する。日本語研究班も、前年度に作成した調査項目を用いて、複数の大学で予備的調査を開始する。トルコ語研究班は東京外国語大学とボアジチ大学で調査を開始する。トルコ語話しことばコーパスについては、タグ付け作業を継続する。本研究では各言語の学習者言語にみられる変異形を研究するが、同じく地域的な言語変異の研究状況も把握しておく必要があるため、フランスからCarpitelli教授を招聘し、地域言語と学習者言語の変異分析における類似性・共通性について論議しコメントをもらう。また今後の協働研究の可能性を模索する。この他にも研究協力者を招聘し、学習者言語コーパスと言語分析について意見交換を行う予定である。

## 13. 研究発表（平成28年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（8）件 / うち査読付論文 計（5）件 / うち国際共著論文 計（2）件 / うちオープンアクセス 計（1）件

著者名	論文標題【掲載確定】				
Yuji Kawaguchi	How Can We Depict Standardization in the Linguistic Atlas? Case Study of Champagne and Brie (ALCB)				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Philologica Jassyensia	無	4-2	2 0 1 7	237-250	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている（また、その予定である）					

著者名	論文標題【掲載確定】				
Wataru Takahashi, Tae Umino	Out-of-Class Extensive Reading in Japanese as A Second Language: Enhancing Learner Autonomy Beyond The Classroom				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
CLaSIC 2016 Proceedings	有	1	2 0 1 6	330-345	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題【掲載確定】				
Tae Umino, Phil Benson	Community of Practice in Study Abroad: A Four-Year Study of an Indonesian Student's Experience in Japan				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Modern Language Journal	有	100-4	2 0 1 6	1-18	該当する
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題【掲載確定】				
高橋亘, 海野多枝	第二言語学習における授業外多読活動の可能性 日本語多読セッション参加者へのインタビュー調査を中心に				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
外国語教育研究	有	19	2016	85-100	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題【掲載確定】				
Isabelle Racine, Sylvain Detey	La liaison dans un corpus d'apprenants : le projet <<Interphonologie du Français Contemporain >> (IPFC)				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Corpus	有	15	2016	237-264	該当する
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題【掲載確定】				
杉山香織	初級フランス語学習者における発話能力の特徴 - CEFR-Jに基づくタスク会話と自己評価の分析から				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
パロールの言語学 : フランス語学研究 (日本フランス語学会)	有	1	2016	85-102	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名		論文標題【掲載確定】				
西岡杏奈、杉山香織、田島義士、梅澤礼、山本大地		フランス語教育の現在とこれから 「できること」「したいこと」				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
RENCONRES	無	30	2016	116-123	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題【掲載確定】				
杉山香織		アクティブ・ラーニング型の文法授業 授業スタイルと学習者特性との関係				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
フランス語フランス文学論集 (西南学院大学)	無	60	2017	47-70	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

〔学会発表〕 計(9)件/うち招待講演 計(5)件/うち国際学会 計(4)件

発表者名	発表標題【発表確定】	
Yuji Kawaguchi	Par-delà la prononciation: trois aspects de la production chez les apprenants japonais du français au niveau faux-débutant	
学会等名	発表年月日	発表場所
Table Ronde sur la prononciation des apprenants japonais de FLE, Congrès SJDF 2016 (招待講演)	2016年05月27日	早稲田大学

発表者名	発表標題【発表確定】	
Yuji Kawaguchi	La structure prosodique reflète-t-elle la structure syntaxique ?	
学会等名	発表年月日	発表場所
Le 4eme Colloque bi-annuel entre nos universites jumelees, <<Echanges culturels d'aujourd'hui : langue et litterature>> (招待講演) (国際学会)	2016年12月08日 ~ 2016年12月09日	淡江大学 (台湾)

発表者名	発表標題【発表確定】	
佐藤千秋, ファール エロディ, 川口裕司	初級フランス語におけるスピーキング能力の可視化/タスク評価法と学習ストラテジーの観点から	
学会等名	発表年月日	発表場所
外国語教育学会第20回大会	2016年12月18日	東京外国語大学

発表者名	発表標題【発表確定】	
川口裕司	Moodleを用いたアクティブラーニング/実践紹介	
学会等名	発表年月日	発表場所
シンポジウム 『外国語教育とアクティブラーニング』 (招待講演)	2017年03月17日	名古屋外国語大学

発表者名	発表標題【発表確定】	
ハリ・ステアワン, 海野多枝	インドネシア語を母語とする初級日本語学習者の「-テイル形」の習得に関する一考察 「動作の持続」と「結果の状態」を中心に	
学会等名	発表年月日	発表場所
2016年日本語教育国際研究大会 (国際学会)	2016年09月10日	バリ国際会議場 (インドネシア)

発表者名	発表標題【発表確定】	
Wataru Takahashi, Tae Umino	Out-of-Class Extensive Reading in Japanese as a Second Language: Enhancing Learner Autonomy Beyond The Classroom'	
学会等名	発表年月日	発表場所
CLaSIC 2016 (国際学会)	2016年12月01日	National University of Singapore

発表者名	発表標題【発表確定】	
杉山香織	アクティブ・ラーニング型の文法授業と学習者特性との関係	
学会等名	発表年月日	発表場所
シンポジウム 『外国語教育とアクティブラーニング』(招待講演)	2017年03月17日	名古屋外国語大学

発表者名	発表標題【発表確定】	
Kaori Sugiyama	Utilisation lexicale chez les apprenants japonais du francais -analyse basee sur le corpus IPFC-JP	
学会等名	発表年月日	発表場所
Le 4eme Colloque bi-annuel entre nos universites jumelees, <<Echanges culturels d'aujourd'hui : langue et litterature>> (招待講演) (国際学会)	2016年12月08日 ~ 2016年12月09日	淡江大学 (台湾)

発表者名	発表標題【発表確定】	
Kaori Sugiyama	Table ronde: Le Centre Regional Francophone d'Asie - Pacifique (CREFAP) sur l'enseignement du francais en Asie - Pacifique	
学会等名	発表年月日	発表場所
XIve Congres mondial Federation Internationale des Professeurs de Francais	2016年07月18日	Universite de Liege (ベルギー)

〔図書〕 計(9)件

著者名	出版社		
Sylvain Detey, Isabelle Racine, Yuji Kawaguchi, Julien Eychenne	CLE International		
書名 【発行確定】	発行年	総ページ数	
La prononciation du francais dans le monde Du natif a l'apprenant	2   0   1   7	264	
著者名	出版社		
Anke Grutschus, Ludwig Fesenmeier, Maria Iliescu, Iva Novakova, Georges Kleiber, Charlotte Schapira, Bernd Spillner, Marco Fasciolo, Sascha Diwersy, Danielle Leeman, Magdalena Augustyn, Francis Grossmann, Sandra Lhafi, Salah Mejri, Yuji Kwawaguchi, Gaston Gross, Joel Eline, Christian Schmitt et al.	Honore Champion		
書名 【発行確定】	発行年	総ページ数	
Phraseologie et profils combinatoires : lexique, syntaxe et semantique, Lexique, syntaxe et semantique. Hommage a Peter Blumenthal	2   0   1   6	368 (263-275)	
著者名	出版社		
Helene Andreassen, Marie-Helene Cote, Sylvain Detey, Jacques Durand, Julien Eychenne, Anita Berit Hansen, Yuji Kawaguchi, Bernard Laks, Chantal Lyche, Dominique Nouveau, Eliissa Pustka, Isabelle Racine, Sandra Schwab, Anne Catherine Simon, Jeff Tenant, Douglas C. Walker, et al.	Oxford University Press		
書名 【発行確定】	発行年	総ページ数	
Variaties of Spoken French	2   0   1   6	608 (491-502)	
著者名	出版社		
川口裕司, 古賀健太郎, 菊池美里	駿河台出版社		
書名 【発行確定】	発行年	総ページ数	
仏検2級準拠 頻度順フランス語単語集	2   0   1   6	262	

著者名	出版社		
川口裕司	IBCパブリッシング		
書名 【発行確定】	発行年	総ページ数	
初級トルコ語のすべて	2   0   1   6	180	

著者名	出版社		
川口裕司	IBCパブリッシング		
書名 【発行確定】	発行年	総ページ数	
初級フランス語のすべて	2   0   1   6	189	

著者名	出版社		
中田俊介, 川口裕司, 神山剛樹	白水社		
書名 【発行確定】	発行年	総ページ数	
音声の科学 音声学入門	2   0   1   6	160	

著者名	出版社		
Sylvain Detey, Graziani, J.-F., Nishiyama, N.	Editions des Archives Contemporaines		
書名 【発行確定】	発行年	総ページ数	
Le Japon, acteur de la francophonie : enjeux interieurs, enjeux exterieurs	2   0   1   6	160 (121-135)	

著者名 Helene Andreassen, Marie-Helene Cote, Sylvain Detey, Jacques Durand, Julien Eychenne, Anita Berit Hansen, Yuji Kawaguchi, Bernard Laks, Chantal Lyche, Dominique Nouveau, Elissa Pustka, Isabelle Racine, Sandra Schwab, Anne Catherine Simon, Jeff Tenant, Douglas C. Walker, et al.	出版社 Oxford University Press		
書名【発行確定】 Varieties of Spoken French	発行年 2016	総ページ数 608 (1-23, 38-52, 55-67, 491-502)	

## 14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

## 15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

## 16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究：-

17. 備考

--

提出確認用